

和歌山だよいい

平成24年 8月号



白崎海岸（由良町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P9
3. お知らせ…………… P10
4. ふるさと歳時記…………… P11



紀の国わかやま国体の開催が正式に決定しました。皆様のご支援・ご協力をおねがいたします。

「 ガラガラポン 」

世の中が何か行き詰まった感が漂って来ると、人々はよく既存の秩序を「いっぺんぶっ壊してみたい」と思う誘惑にかられます。「ガラガラポン」の発想です。古くは明治維新の志士の発想だし、昭和の時代それまでの政党政治に飽き足らず抑圧的な世界秩序を一挙に壊そうとした革新官僚と青年将校の運動もそうでしょう。新しくは長期政権に「一回はお灸を据えなければ」と政権交代が華々しく行われたのもこういった流れに分類されるのかもしれない。道州制などもそういう臭いがします。しかし、私はこういう動きが破壊だけを目的として行われるのなら、それは反対です。「ガラガラポン」には一番大事な「ポン」がないといけない。すなわち、秩序を壊した後作るべき新秩序こそが大事だということです。そうでなければ、破壊の後出来た新しい世の中は前よりももっと悪くなっているかもしれません。本当はよく出来た制度も一緒に皆壊されてしまうだけになる恐れもあります。実は、多くの場合このような「ガラガラ」の運動にはろくな「ポン」がないことが多いのです。実現できそうにもない美辞麗句が踊っているだけのことも多いのです。壊し屋は一見格好はいいのですが、それだけではそんなに値打ちはありません。

日本も和歌山も岐路に立っていることは事実です。そういう時こそ、賢明な和歌山県民は、「ガラガラ」の魅力に惑わされることなく、その結果世の中をどうするとか、またそれは本当に実現できるのか、その副作用に七転八倒することにならないかをよく考えて、行動することが必要だと思います。その時こういう時代、すべてを適えてくれるものはありません。格好いい「ポン」はないかもしれない。それなら色々な主張、意見のうちどちらがよりましかということを考えるのも大事なのではないのでしょうか。



7月13日定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

● デンマーク・スペインを公式訪問

・ 7月1日から7月8日まで、仁坂知事はデンマーク及びスペインを公式訪問しました。
・ デンマークでは昭和32年に紀伊水道で火災を起こした船舶の救援活動で落命したデンマーク人のクヌッセン機関長(※1)の遺徳を偲ぶとともに、スペインでは、姉妹道提携(※2)を行っているガリシア州のサンティアゴ・デ・コンポステーラ市を訪問し、連携強化の覚書を締結し、和歌山の誘客PRに務めました。

※1 クヌッセン機関長

昭和32年2月、紀伊水道を航行中のデンマーク船エレンマークス号が、美浜町の日の岬沖で炎上する徳島県の機帆船を発見。乗組員を救助しようとデンマーク船のヨハネス・クヌッセン機関長が嵐の海に飛び込み、落命した。機関長の遺体と救命艇が翌朝日高町に流れ着いた。美浜町と日高町では、この立派な行為を悼んで、美浜町に顕彰碑を、そして日高町に供養塔と救命艇の保管庫を作り、ずっとその遺徳を讃えている。

※2 姉妹道提携

キリスト教の聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼道「サンチアゴの道」と熊野三山に通じる参詣道「熊野古道」は、歴史的にも巡礼路として同時期に発展し、歴史文化遺産としてまた精神文化の拠り所として脈々と地元住民に愛されてきた共通の経緯があり、平成10年にサンチアゴの道があるスペインガリシア州と熊野古道のある和歌山県の間で「姉妹道提携」を締結した。

デンマーク

● バンクスボー博物館訪問、クヌッセン機関長墓参・献花

・ 7月2日、訪問団一行はフレデリクスハウンのバンクスボー博物館を訪れました。
・ この博物館には、クヌッセン機関長を偲んで、展示コーナーが5年前に設けられ、一行は胸像や遺品等の展示について、説明を受けました。
・ また、機関長が幼少時代を過ごした家や機関長が眠るフレデリクスハウ墓地も訪れ、訪問団を代表して仁坂知事が献花を行いました。



● ムラー市長主催レセプション

・ 7月3日、ムラー市長主催のレセプションがフレデリクスハウ市役所で開催されました。
・ 仁坂知事は、訪問団を代表して温かい歓迎に感謝の意を述べるとともに、「クヌッセン機関長が繋いだ友好の絆を大切にし、フレデリクスハウ市との友好親善関係を深めていきたい」と挨拶しました。



● 自然エネルギー関連施設訪問

・ 7月4日、訪問団一行は自然エネルギー関連の施設を訪れ、デンマークのエネルギー政策の現状について、説明を受けました。
・ アマー焼却場は、50万人の市民から収集されたゴミを燃料にし、暖房等12万世帯分の熱供給と5万世帯分の発電を行っています。また、ドンエナジー社のアヴェドアパワーステーションは石炭等の化石燃料の他、バイオマスも利用した世界最高の効率的なプラントを謳っています。
・ 東日本大震災を契機に、エネルギー政策のあり方が問われる中、自然エネルギーを利用し、エネルギー効率に長けたデンマークの政策は、大いに参考となるもので、有意義な訪問となりました。



スペイン

●ガリシア州企業連合会会長・ガリシア州政府観光部長との懇談

- ・7月5日、仁坂知事は、ガリシア州企業連合会会長、ガリシア州政府観光部長を相次いで表敬訪問しました。
- ・企業連合会は州内の約1万社が加盟しており、経済事情等について意見交換を行いました。また、観光局では、「道」の提携を実施している両県州の観光分野における連携等、今後の交流について、活発に意見交換をおこないました。

●和歌山写真展・巡礼道に係るワークショップ

- ・和歌山の魅力をより広くPRするために、500年以上前に王立病院兼巡礼者宿泊施設として建設された由緒あるホテルにおいて、「和歌山写真展」を開催しました。
- ・仁坂知事は写真展を訪れ、来場者に直接、和歌山の魅力をPRしました。
- ・また、スペイン最古の大学の一つであるサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学にて同大学主催による「巡礼道にかかるワークショップ」が開催され、仁坂知事も出席。スライド等を交えながら和歌山の魅力をPRしました。



●ガリシア州首相表敬・連携強化に係る覚書調印

- ・仁坂知事は、ガリシア州のアルベルト・ヌニェス・フェイホー首相を表敬し、和歌山県とガリシア州との「友好親善関係と連携強化に係る覚書」を締結しました。
- ・今後はこの覚書に基づき、同州との交流を活性化させていきます。



●現地有力旅行社へのトップセールス

- ・7月6日、仁坂知事は、スペインの首都マドリードにおいて有力旅行社を訪問しました。アジア向けに力を入れているティーユーアイ・アンバサダー社を訪問し、和歌山県への誘客を呼びかけるとともに、旅行商品の造成を依頼しました。
- ・また、クラブマルコポーロ社では、同社が東日本大震災後に日本ツアーをカタログから削除していましたが、来年のカタログに熊野古道・高野山といった世界遺産を巡るツアーの掲載と商品造成を依頼しました。
- ・両社からは前向きな回答を得ました。

●和歌山プロモーション

- ・マドリードの日本大使館において「和歌山プロモーション」が実施されました。
- ・スペイン政府要人をはじめ、旅行関係・食品関係事業者やマスコミ関係者などが出席。仁坂知事は、和歌山の魅力を大いにPRしました。
- ・日本とスペインは再来年に交流400周年を迎えることから、今回のプロモーションはその記念すべき年に向けて、時宜を得たPRとなりました。



- ・今回の訪問では、デンマークにおいては、クヌッセン機関長が繋いだ和歌山との「絆」、が再確認され、また、スペインでは世界に類を見ない巡礼道の姉妹提携をより深めていくことが同意されました。
- ・和歌山県では、これまでの友好交流の歴史を大切にしながら、さらなる展開を図っていききたいと思います。

●「紀の国わかやま国体」の開催が正式決定！！

・7月11日、平成27年の第70回国民体育大会（愛称：紀の国わかやま国体）が和歌山県で開催されることが、公益財団法人日本体育協会理事会において、正式に決定され、同日、張富士夫会長から、仁坂知事に開催決定書が交付されました。

・会期は平成27年9月26日から10月6日の11日間で、和歌山での開催は昭和46年の黒潮国体以来、44年ぶり2回目となります。

・併せて、第15回全国障害者スポーツ大会（愛称：紀の国わかやま大会）についても、本県で初めとなる開催が決定しました。



第70回国民体育大会及び第15回全国障害者スポーツ大会（平成27年）
開催決定に係る知事コメント

本日開催された公益財団法人日本体育協会理事会において、和歌山県が第70回国民体育大会（愛称：紀の国わかやま国体）の開催地として決定されました。

あわせて、第15回全国障害者スポーツ大会（愛称：紀の国わかやま大会）につきましても、本県で開催することとなります。

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典であり、本県での開催は、昭和46年の第26回大会以来、44年ぶり、2回目となります。

一方、障害者スポーツの祭典である全国障害者スポーツ大会につきましては、和歌山県でののはじめての開催となります。

今回の紀の国わかやま国体は、「和歌山を元気にする国体」、「国体を契機としたスポーツの振興」、「活力に満ちたふるさとづくりに寄与する国体」、「和歌山の魅力を全国に発信する国体」の4つの基本目標をもって、大会の開催に取り組み、全国から訪れる多くの方々を心温まるおもてなしでお迎えすることで、交流の輪を広げ、夢と感動を共有し、和歌山の魅力を全国に発信して参りたいと思っています。

また、紀の国わかやま大会につきましては、自然あふれる『紀の国わかやま』で出会い、障害のある人もない人も参加者みんなが一体となって、互いの絆を深める大会を目指して開催して参ります。

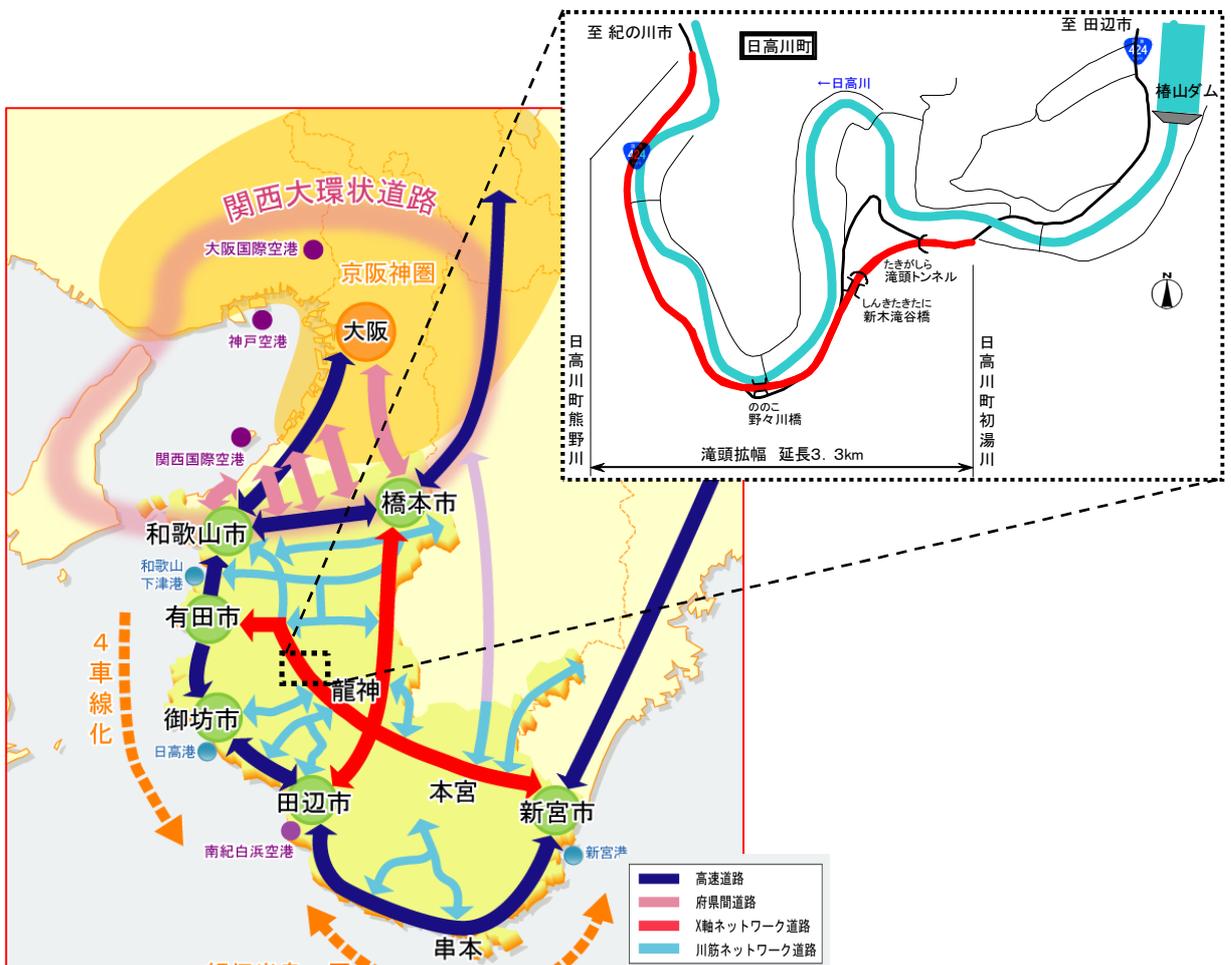
両大会の開催を契機として、本県のスポーツの振興はもちろん、魅力あるまちづくりや観光・物産の振興など様々な施策を推進していくとともに、和歌山の魅力を全国に向けて発信し、県民運動の展開を通して、活力ある「元気な和歌山」の実現に繋げていきたいと考えております。

本日の開催決定を受け、開催準備は今後益々本格化してまいります。

平成27年の両大会を全国から訪れるの方々や県民の皆様の記憶に残る、素晴らしい大会とするためには、県民の皆様のお力添えが必要ですので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●日高川町の国道424号拡幅工事が完成！！

- ・7月15日、国道424号の日高川町初湯川～熊野川間3.3kmで進められていた拡幅工事が完了し、開通式典が行われました。
- ・これまでの道路は、幅員が狭く、カーブが多いため、大型車の対向が困難でしたが、新たにトンネルや橋を造り、2車線拡幅ができたことにより、安全で快適な走行が可能となりました。
- ・この区間は、高速道路を補完する内陸部骨格道路であるX軸ネットワーク道路として、位置づけられており、今回の開通により、X軸ネットワークの道路整備が完成しました。
- ・仁坂知事は「X軸ネットワークの完成により、災害時の緊急輸送が強化され、産業や観光振興のチャンスが広がります。このチャンスを活用して下さい。また、今後は川筋ネットワークを整備していきます」と挨拶しました。
- ・当日は、祝賀パレードや餅まきも行われ、地域の方々が盛大に開通を祝いました。



● “和歌山の美味しい桃” 売り出し中です！

大阪市中心卸売市場でトップセールスを実施

・7月12日、午前5時より大阪市中心卸売市場本場（大阪市福島区野田）において、この季節の恒例となった紀の川市・JA紀の里主催の“桃のトップセールス”が行われました。

・トップセールスには、中村紀の川市長、山田JA紀の里組合長をはじめ、仁坂知事も法被姿で出席しました。

・知事は挨拶で、農薬残留のダブルチェックなどを経て、厳選して出荷されることに触れ、「おいしさ+安全・安心」を兼ね備えた和歌山の桃を大いにPRしました。

・その後、試食用に用意された桃は、その美味しさをよく知る市場関係者に配られ、あっという間になくなってしまいました。



航空会社ピーチアビエーションとのコラボで桃をPR

・7月22日、関西空港において、和歌山県、紀の川市とJA紀の里が「わかやまの桃」を全国にPRするため、同空港を拠点とする航空会社ピーチアビエーションと「桃」をご縁としたコラボイベントを開催しました。

・ピーチ側からは井上CEOに3名のキャビンアテンダントも参加し、紀の川市長らとともに午前中に福岡と札幌から関西空港に到着したピーチ

の乗客の皆さんに、完熟期を迎えた「白鳳」を無料で配布。甘いプレゼントは皆さんに大好評で、和歌山の美味しい桃の知名度が一段とアップしました。



《和歌山県の桃》

紀ノ川流域の水吐けの良い砂地と温暖な気候の下で栽培され、桃生産農家が果実1つ1つに袋がけするなど丹精込めた生産方法で出来上がった果実は、“上品な色・甘さ・豊かな香り”の三拍子が揃っており、その美しさから果物の貴婦人とも呼ばれています。

特に、関西ではJA紀の里「あら川の桃」ブランドは最高級品として有名です。

○和歌山県の桃は出荷量全国4位！《1位 山梨、2位 福島、3位 長野、**4位 和歌山**、5位 岡山（H23農林産統計）》

桃の代表品種

【白鳳・はくほう】7月上旬～

桃の代表品種で外観は赤味をおび、果肉は白色。やわらかく甘さも十分の人気者。

【清水白桃・しみずはくとう】7月中旬～

果皮も果肉も白っぽく、上品な甘さで果汁たっぷり。和歌山では白鳳と並んで多く栽培され、好評。

【川中島白桃・かわなかじまはくとう】8月上旬～

大玉で日持ち良し。盆需要品種として人気



●アドベンチャーワールドが「行ってよかった動物園」の第1位に！！

・世界最大の旅行口コミサイトであるトリップアドバイザーが過去1年間に同サイトに投稿された口コミでの評価をもとに、「行ってよかった動物園ランキング2012」を発表し、白浜町にあるアドベンチャーワールドが昨年まで2年連続で1位だった北海道の旭山動物園を抑え、見事日本一に選ばれました。

・同サイトに寄せられた口コミには「パンダが最高」や「パンダに夢中」とアドベンチャーワールドの多彩な魅力の中でも、やはり国内最多の8頭のパンダが飼育されていることを評価する声が多く見られました。

・訪れた方の実体験に基づく口コミは、旅行計画を立てる際にも、多くの方が参考にしており、ここで日本一に選ばれることは、今後のPRにも大きくプラスとなるものです。

・和歌山県では、故郷わかやまを全国に発信した功績を讃え、昨年パンダファミリーに「和歌山県勲功爵」の称号を贈り、また、パンダをモチーフにした「わかぱん」を観光のシンボルキャラクターに起用していますが、今回、同園が日本一に選ばれたことを受け、相乗効果により、全国に向けて更なる誘客を図っていきます。



●九州北部豪雨で被害を受けた熊本・大分両県に職員を派遣

・和歌山県は7月14日から7月17日まで、この度の九州北部豪雨で、甚大な被害が発生した熊本と大分の両県に防災や河川の担当職員3名を派遣しました。

・これは、本県が今年の台風12号に伴う豪雨災害から蓄積した経験やノウハウを両県の復旧・復興に役立ててもらおうと、災害発生直後に仁坂知事が両県の知事に派遣を打診し、決定したものです。

・派遣された職員は、本県が市町からの要請を待たずに職員を派遣し状況把握に務めたこと、がれき処理にも職員を派遣したこと、さらにはボランティアの受援体制、義援金の早期配分、被害認定の早期実施など今年の災害対応を詳細に伝え、市町の仕事であるとわかった上で、被災者の立場に立ち踏み込んだ対応を行ったことが早期の復旧につながったことを助言しました。

・今回の豪雨で被災された地域の、1日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

●企業立地件数が、106件になりました。

・この度、大阪市に本社を置く株式会社丸阪が橋本市の紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台」に進出することが決定しました。

・株式会社丸阪は平成26年で創業100周年を迎える企業で、水道・ガス管等に使用されるダクタイル鋳鉄異形管、塩ビ管用離脱防止継手、ポリエチレン管用鋳物継手を製造しています。

・その中でも、阪神大震災や東日本大震災においても破損しなかった「耐震型継手」の製造が高い評価を受けており、同社の大きな特色となっています。

・今回、事業基盤の強化を図るために、本社への近接性と交通の利便性から、橋本市へ工場を建設することになりました。操業開始は平成25年10月の予定です。

●平成24年度在京和歌山県人会通常総会開催

- ・7月8日、グランドアーク半蔵門において、在京和歌山県人会通常総会が開催されました。
- ・総会では、竹中会長の挨拶のあと、事業報告や予算などの議事が承認されました。
- ・総会に続く懇談会では、スペシャルゲストとして、ロンドンオリンピックに出場する体操競技の田中和仁、佑典兄弟が出席。田中兄弟が、オリンピックにむけての決意を述べ、大舞台での活躍を誓うと、出席者からは大きな拍手が湧き上がりました。
- ・市町村毎に設けられた各テーブルでは、懐かしい話に花が咲くなど、終始、和やかなひとときとなりました。



竹中会長による挨拶

●平成24年度大阪和歌山県人会総会・懇親会開催

- ・7月28日、平成24年度大阪和歌山県人会総会がホテル日航大阪（大阪市）において、開催されました。
- ・総会の冒頭、佐竹会長が「今後ますます県人会活動の盛り上がりを期待したい。」と挨拶し、その後、事業報告、会計報告などの議事が承認されました。
- ・続いての懇親会では、恒例となった田辺市による梅酒の試飲コーナーも設けられ好評を博したほか、舞台ではフラダンスのアトラクションが披露されるなど、大いに盛り上がりました。
- ・また、佐竹会長の実家（紀の川市）で収穫された桃が出席者に配られ、故郷の旬の味をお土産として持って帰りました。



佐竹会長による挨拶

●和歌山県公式 facebook ページ「和歌山県庁」を開設！

- ・ 8月1日より、和歌山県は新たに和歌山県公式 facebook ページ「和歌山県庁」を開設しました。
- ・ 県のイベントや一押し施策などを掲載するほか、メールマガジン「わかやま通信」や広報リーダブログの更新情報等を記事内容の紹介と併せてお伝えします。
- ・ facebook（フェイスブック）は近年、国内でも利用者が急増しており、今後も和歌山県に関する情報を広く発信するツールとして活用していきます。和歌山県公式 facebook にはホームページ「和歌山県情報館」トップページの下記のバナーをクリックして下さい。



和歌山県情報館のトップページにあるバナーをクリック！



●紀の国わかやま国体ホームページもリニューアル！ facebook ページも開設！

- ・ 8月1日より、紀の国わかやま国体のホームページもリニューアルされました。
- ・ 新しいホームページでは、第15回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）のページを新設し、マスコットのきいちゃんのコーナーが「きいちゃんランド」にグレードアップされ、競技や会場の紹介ページが充実しています。
- ・ また、新たな広報ツールとして facebook ページ「紀の国わかやま国体・大会」も開設。大会の開催準備状況や、イベント情報から「きいちゃん」の活動報告まで、多彩な話題で両大会を盛り上げていきます。ぜひ、アクセスしてみてください。



国体・大会 facebook へは紀の国わかやま国体のホームページから青色の facebook バナーをクリック！

～由良町～

興国寺の火祭

- ・興国寺は、源頼朝の菩提を弔うために創建されたのが始まりとされ、金山寺味噌・醤油の発祥の地としても知られる臨済宗妙心寺派の名刹です。
- ・この興国寺で、毎年8月15日に行われるのが「火祭り」で、開山以来700年以上の伝統を持ち、松明踊り、大松明（土桶）担ぎ、灯籠焼きの三つからなる盂蘭盆会の行事です。
- ・夕刻、檀家の人達が灯籠を掲げて法堂(本堂)に集まります。子どもたちによる松明踊につづき、長さ4メートル、重さ300キロの土桶と呼ばれる大松明4本に火をつけ妙技をみせ、そのあと念仏と鉦・尺八の奏する中を、各戸の灯籠が火中に投じられます。
- ・日本三大火祭の一つにも数えられ、地元をはじめ大勢の参拝者やカメラマンで賑わいます。

戸津井鍾乳洞

- ・延長約100mの小さな洞窟ですが、この洞窟ができたのは2億5千万年以上前とされています。
- ・大正時代から昭和20年頃まで、石灰採石場として利用されていましたが、閉鎖。その後、地元から鍾乳洞開発の声が上がり、由良町が整備し、平成元年から一般に公開されています。
- ・洞内は年間を通して15度で、今のような暑い時期には絶好の避暑スポットとなっています。



白崎海洋公園

- ・万葉の昔からその美しさが歌に詠まれ、日本の渚百選にも選ばれた、白崎海岸に整備された公園。スクューバダイビング、オートキャンプ場、展望台、レストラン、売店など様々な施設が備えられています。
- ・オールシーズン利用できる屋内ダイビングプールやダイビング後の体を癒すジャグジーなどダイビング関係の施設が充実しており、関西をはじめ全国から多くのダイバーが訪れています。
- ・また、毎年3月から7月頃にはうみねこの大群が公園全体に飛来することでも有名です。



～編集後記～

梅雨明けと同時に、暑い毎日が続いておりますが、皆様お変わりございませんでしょうか。

先月号では梅、今月号では桃と2号続けてフルーツの話題をお届けしましたが、過去の「和歌山だより」でも度々フルーツ関連の記事が登場しているのは、ご存じのとおりです。改めて、和歌山がフルーツ王国であることを再認識します。

これからの季節も、ぶどう、いちじく、柿、そしてみかんと、様々な県産のフルーツが収穫期を迎えます。年間を通して、これだけ、地元産のフルーツを楽しめるところは、数少ないのではと思いますが、和歌山にいと当たり前すぎて、この豊かな自然の恵みの良さに中々気がつきません。かく言う私も子どもの頃、家で採れた柿やミカンをありがたくいただいたことは無かったのですが・・・

当たり前と思っていることが、実は他所から見ればその地域の魅力であり、地域の財産であることが、多々あります。そんな魅力を上手く引き出して、地域の活性化に繋げていくことも、私たち行政に与えられた課題であり使命であると思います。

和歌山だよりをお読みいただいている皆様は、ふるさとを離れて久しい方も多いかと思えます。しかし、離れているからこそ気づいておられるふるさとの魅力や素晴らしさがあるかも知れません。また良ければ、そんなご意見もお寄せいただければと思います。

当たり前だけど実は当たり前でない、和歌山の各地域のいろいろな魅力が、明日に繋がるように私たちは頑張らなければなりません。

さて、暦の上では、まもなく立秋を迎えますが、まだまだ厳しい暑さが続きそうです。また私はこれからしばらくオリンピックの応援で寝不足になりそうです。皆様も暑さや睡眠不足などお体に十分気をつけてお過ごし下さい。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2012年(平成24年)8月 NO.52

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022